

Osmo 実践報告書

記入日： 2023 年 10 月 23 日

学校名	武蔵野市桜野小学校 実践校（武蔵野市立境南小学校）
氏名	鏑田マリ 先生

■モニター利用について

利用した Osmo の種類と個数	コーディングスターターセット 1 セット
学年	1 年生、3 年生
人数	3 人
実施期間	10 月 2 日～19 日
授業時数	一人につき 3 時間
学習指導要項における項目	自立活動（特別支援教室）
単元名	
育てたい力	課題解決、見通しを持つ力、自己コントロール
授業の目的	児童の特性上、直ぐに諦めてしまう傾向がある。コーディングを通して、見通しをもってどのようにすれば課題を解決できるかを考え、最後まで諦めず課題を解決していく力を育てたい。また、自分の気持ちをコントロールすることも難しく、「だめだ」と思うとパニックなり活動が中断してしまう。「少し頑張ればできる」と思える活動を通じて、気持ちを立て直しながら活動ができた経験を積み重ねることができるようにする。

■授業の展開

学習活動	コーディング（初級編）を楽しみながら順序をおって行う。
------	-----------------------------

授業内容

コーディング（初級編）を自分一人で考えて課題を1つずつ解決していく。難しい課題のときは、児童が担当教諭に支援を求め、担当教諭と一緒に考えて最後まで課題に取り組む。

出来たことは、担当教諭が言葉で具体的に伝え、達成感を味合わせる。

児童の学習の様子



3年生

感覚でコーディングできる。
少しでも「できない」と思うと
パニックになり殻に閉じこもってしまう。
キャラクターや音楽に助けられ
最後まで諦めずに課題を終えることが
できた。

1年生 2名

2名とも、自分のやりたいことがはっきりしている。少しでも「できない」「おもしろくない」と思うと何事もできない。興味関心を引くことができる教材だったため、率先して、コーディングをおこなうことができた。
諦めが早いため、教員が諦める前に声を掛けて「できた」「楽しい」という気持ちになるように支援を行った。

■まとめ

成果	<ul style="list-style-type: none">・キャラクターや音楽が児童の「楽しい」を持続することができた。その結果、「やればできる」という気持ちを育てることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none">・他の教科に繋がる支援が必要である。また、児童の変容を記録したうえで、OSMO の教材で行った成果が妥当か判断する必要がある。
児童の変容	何事も諦めがちであった児童が、率先して学ぼうとする姿があった。